

鏡石町立鏡石中学校
学校だより 第11号

最善美

「最善を尽くせ」
「美しくあれ」

令和4年6月13日(月) 発行責任者: 校長 津金光彦

手作りの「鏡中生よ美しくあれ」「最善を尽くせ」



用務員さんが糸鋸で製作した手作りの「鏡中生よ美しくあれ」「最善を尽くせ」が届きました。とても繊細な作品で、日々校舎内外の環境美化に力を尽くしている用務員さんの姿そのものという美しさです。最近の鏡中生は、生活面・学習面いたるところで「美しくあれ」「最善を尽くせ」を姿で表すことができるようになってきました。授業に真剣に臨む姿、清掃に一生懸命取り組む姿、中体連で最後まであきらめず戦い抜く姿、笑顔で挨拶する姿…。まだまだたくさん挙げることができます。これからも多くの「美しくあれ」「最善を尽くせ」を期待します。

進路選択に向けて情報収集をしよう！

3学年フロア掲示板には、私立高校をはじめとした進路情報が貼り出されるようになりました。夏休み中に県立高校で行われる「一日体験入学」のお知らせも届くようになりました。

進路選択は、確実な情報収集が大切になります。進路指導主事から出される“進路だより”や各高校のホームページ等で情報を漏れなく収集し、進路選択前に、自分の目で足で肌で、候補となる進学先の校風や雰囲気を感じてほしいと思います。

『あのときやっておけばよかった。』の“あのとき”は“今”です。始めるなら“今”です。



子どもたちの純粋な心に触れて…

学校に定期的に届けられる機関誌の1つに「こどもの夢の青窓」(写真右)があります。詩集なのですが、子どもの視点で見た純粋な詩が綴られています。今回は、その中でも特に印象に残った詩を紹介します。

ウクライナ戦争 小学校5年女子

ウクライナ戦争 苦しい戦い
ロシアからのミサイルがとんできて
ウクライナの人がみんな困っている 他の国も困っている
泣く人もたくさん つらい日々が毎日続く
早くやめてほしいと願う 明日もきっと苦しい戦いが続く
こんなつらい日々が続かないでほしい
早くウクライナを救いたい

戦争によって苦しんでいる他国の人々を思い、「救いたい」という言葉に心打たれました。「想像力」は、痛みや苦しみを感ずる上で必要不可欠な力の一つです。この女兒は、そのような「想像力」をもっているのでしょうか。ウクライナでは、1000人あまりの子ども(18歳未満)が死傷しているとのこと(2023年1月ウクライナ検察発表)。争いのない世界へ…「想像力」を鍛えたいものです。

